

海域の概要

本湖は、南部が遠州灘に開いている汽水湖で、湖内ではレジャーボートなどのマリンスポーツが盛んです。また、ウナギやカキなどの養殖が行われています。



Specification

諸元

湾口幅：0.2 km

面積：72.3 km²

湾内最大水深：16.6 m

湾口最大水深：6.1 m

閉鎖度指標：1.1596

備考：環境基準類型指定水域

Location

範囲または位置

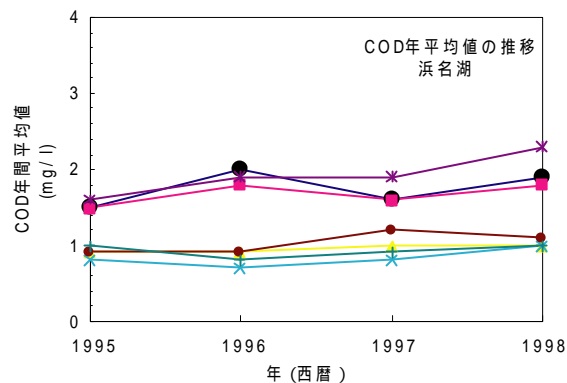
静岡県浜松市、湖西市、浜名郡舞阪町、同郡新居町、同郡雄踏町、引佐郡細江町及び同郡三ヶ日町。



環境

浜名湖の平成11年の水質環境基準は、湖心部で海域A類型、猪鼻湖などの入り江ではB類型に指定されています。CODの経年変化は、ほぼ横ばいの状態で推移していますが、全般的に湖心部や、水が滞留しやすい湾岸部では湖口部に比べ汚濁が進んでいます。このため平成5年度に、生活排水対策重点地域の指定を受け、「生活排水対策推進計画」を策定、計画的・総合的な生活排水対策を実施しています。

底質は、泥または砂となっています。



自然

浜名湖の面積は全国第10位、その周囲長は全国第3位を誇る我が国有数の湖で、浜名湖の湖面とその周辺及び湖西・湖北の山地一帯は、県立自然公園に指定されています。

湖口部には広大なアマモ場が形成され、また、干潟も各所に形成されており、様々な生き物のすみかとなっています。

浜名湖の水辺には豊かな自然が息づいており、館山寺周辺の緑地は野鳥や昆虫類の生息環境としても重要な役割を果たしています。

水深が比較的浅く、屈曲した入り江が多いことや汽水湖であること、河川からの栄養分が豊富なことなどから、多種多様な魚介類が生息しています。静岡県水産試験場の調査によると、魚類387種、海老類32種、カニ類75種、その他軟体類119種の計613種、藻類では有用種として7種類が記録されています。



浜名湖

文化歴史

浜名湖は、古くは遠淡海と呼ばれ、遠江の国名の元となった歴史の湖であり、圏域の人々の暮らし、生業、交通、文化などと密接な関わりを持ってきました。浜名湖周辺には、新居関跡、気賀関跡、方広寺、三ヶ日遺跡などの史跡も多く分布します。

産業

現在、ノリ、カキ、ウナギ、スッポン等の養殖漁業、アサリ、クルマエビ等の栽培漁業、また、日本で数少ないノコギリガザミ(ドウマン)の漁場となっています。また、浜名湖ではハゼ、小ハゼ、アミ、コウナゴなどの小魚や、アサリ、クルマエビ、小エビなどが漁獲されていて、江戸時代から続く伝統技法により佃煮に加工されています。また、北畔では「三ヶ日みかん」の栽培が有名です。

浜名湖周辺は、オートバイ、楽器、スコープといった商工業が栄えています。これら企業が開設したマリーナやホテルが湖畔に多くあり、ウィンドサーフィン、水上バイク、水上スキー、フィッシングなどのレジャー産業も盛んです。



湖上のジェットスキー